

「どこでもアクション実行委員会」 施設全体で設備・備品を管理しイベントの活性化につなげるコーディネート組織



事業内容

「どこでもアクション実行委員会」は、施設の設備や備品を諸室単位ではなく施設全体で管理し、共用空間も含めた様々な場所で文化芸術活動やイベントが実施されるよう物品をコーディネートしていく組織です。例えば、スタジオにあるピアノや練習室にある鏡などの持運びを可能とし、施設内であればどこでも活動できるようにすることで、いつも施設のどこかで活動が展開されている状態を目指します。また、諸室ごとの管理ではなく、物品を施設で展開する活動に合わせて統括して管理することで、予約の混雑する諸室が生じることを防止し、合理的な物品管理を実現することができます。

実施することで得られる効果・可能性

諸室単位での利用を越えた施設全体での活動の展開
活動内容に応じた合理的な物品管理

実現する上での課題

利用時における物品の運搬といった技術的ハードル
設計段階での綿密な計画にもとづく諸室の柔軟性確保の必要性

「まちなかスタジオ設計室」

空き家・空き店舗を練習室・スタジオへと転用する取組



事業内容

新しい施設は文化芸術活動の発展のみならず、市が現在抱えているまちづくりの課題にも貢献することが期待されます。「まちなかスタジオ設計室」は、空き家や空き店舗といった市内の空室を即席の練習室・スタジオに転用し、文化芸術活動の拠点として活用していくことを目指す取組です。新しい施設では、施設の複合化に伴い、諸室の予約がより一層混雑するなど、施設利用が飽和状態になることが想定されます。一方、現在市街地を中心に、有効活用が望まれる空き家や空き店舗が増加しています。そこで、「まちなかスタジオ設計室」は、新しい施設で予約がとれなかった際の代替案として空き家・空き店舗を活用していくことで、まち全体での文化芸術活動の活性化とまちづくりの課題解決が見込める一石二鳥のアイデアです。

実施することで得られる効果・可能性

文化芸術活動を通じた中心市街地の活性化
施設利用の混雑緩和

実現する上での課題

専門スタッフの必要性
空き家・空き店舗を所有するオーナーの理解・協力

「お茶の間フレンズ」

子ども食堂の実施を通じて、子どもたちに安心・成長の場を提供する取組



事業内容

子ども食堂は、経済的な理由から家庭で満足な食事をとれない子どもを主な対象とし、地域のボランティアや寄附をもとに子どもたちに安価で栄養バランスのとれた温かい食事を提供する取組です。新しい施設が子どもにとっての身近なサードプレイスとなるためには、文化芸術活動に特化した取組のみではなく、社会福祉や社会包摂といった観点からの取組が必要です。「お茶の間フレンズ」では、新しい施設で子ども食堂の取組を実施することで、子どもたちに良質な食事をとってもらうことはもちろん、文化芸術活動を通じて、安心し、健やかに成長することのできる環境を提供することを目指します。

実施することで得られる効果・可能性

施設の来訪機会・リピーター創出
文化芸術に対する興味・関心の喚起

実現する上での課題

子ども食堂の実践を希望する市民ボランティアや食材を提供する生産者の存在

「文化芸術コンソーシアム」 市内文化芸術活動の分野を超えた交流や連携を目的とした組織



事業内容

「文化芸術コンソーシアム」は、新しい施設を中心に、市内の文化芸術活動団体の分野を超えた交流や連携を目的とした組織です。文化芸術活動の強みを生かした仲間づくり・交流を目的としたイベント・ワークショップの企画や、異なる分野が日常的に協働し、接点を持つことのできるようなプラットフォーム・場所づくりなどの活動を積極的に実践していきます。組織の運営に関しては、凝り固まることのない柔軟な組織づくりを目指し、市民の意見を聞く機会を頻繁に設けるなど、組織の体制や役割を臨機応変に変化させることができます。

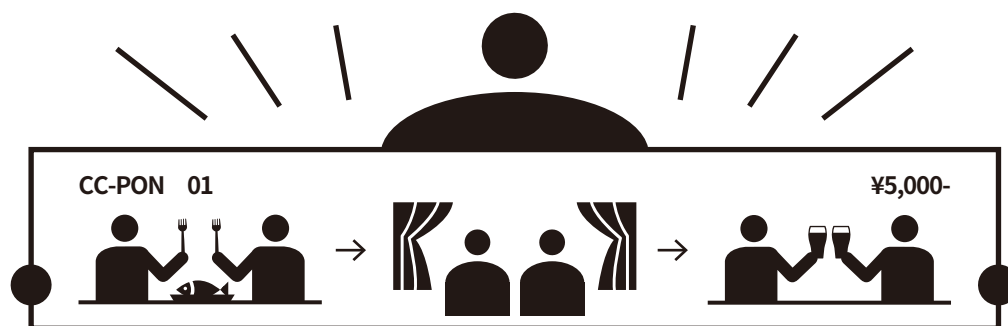
実施することで得られる効果・可能性

施設の来訪機会・リピーター創出
文化芸術に対する興味・関心の喚起

実現する上での課題

既存の文化団体協議会といった団体との連携の必要性
持続的な活動を展開する組織体制や仕組みの検討

「CC-PON! (カルチャークーポン)」 商業活動と文化芸術活動をセットで考え企画する団体



事業内容

「CC-PON!(カルチャークーポン)」は、市内の商業活動と新しい施設での文化芸術活動を組み合わせた企画を実施する団体です。例えば、市内の飲食店の割引と公演を組み合わせ、公演だけではなくランチやディナーもセットにした休日一日をトータルでコーディネートしたプランを提案し、バンドの練習とその打上げをセットにした割引料金プランを設けます。この取組では、文化芸術活動だけではなく商業活動の活性化も目的とし、文化芸術活動を通じたまちづくりの可能性を積極的に追求していきます。

実施することで得られる効果・可能性

施設の来訪機会・リピーター創出
文化芸術に対する興味・関心の喚起

実現する上での課題

企画に対するニーズ把握の必要性
市内の店舗や各種機関との連携